

施策の柱に沿って取組が進んできた分野・課題

I 「支え合い」活動の推進

- 生活支援サービス等の充実
(R3.3現在 住民運営の通いの場 33市町村で立ち上げ)
- 地域における子育て支援の推進
(子育て世代包括支援センター 37市町村で設置)

II 多様な福祉の担い手づくり

- 住民等による見守り支える体制づくり
(R3.3現在 あいサポーター養成人数24,461名 / 認知症サポーター養成人数119,534名)
- 福祉・介護人材の確保・定着に向けた制度の整備
[「保育人材バンク」の導入・運営 (H30.4現在 292事業所)]

III 安心できる福祉基盤の整備

- 更生支援の取組 (R2.7現在 更生支援のための法人を設立し、取組を推進)
- 権利擁護の推進 ([障害のある人への虐待防止の取組] R3.3現在 障害者虐待防止・権利擁護研修の終了者数 2,555名)
- 自殺対策の推進 (R2.4現在 自殺対策計画を全市町村で策定済)
- 市町村地域福祉計画の策定 (R3.3現在 26市町村で策定済)

取組をさらに進める必要がある分野・課題

- 現行計画期間中に更なる取組が必要となった課題 [8050問題、ひきこもり など]
- 全ての住民が地域で活動するための地域資源の創出
- 庁内及び多機関連携体制の構築に向けた取組の支援
- コミュニティソーシャルワーカー等、地域で活動する専門職の育成・配置のさらなる推進